

自転車の利用 県版指針

「駅」の設置など示す

全国初

国土交通省と県、県団地が点在し、自転車の警は28日、自転車がある全道に通行できる道路整備などの方向性を踏まえ、「自転車を示す本県版「自転車利用環境創出ガイドライン」をまとめた。今後、詳細を詰めた上で年度内にもホームページなどで公表する。

同日開かれた有識者会議「県自転車利用環境検討会議」(座長・森本章倫宇都宮大学院教授)で大筋合意。取り組み事例やマップなどに、県内の事例を盛り込んだ。本県は、観光施設や工業む方向に修正し確定す

自転車死亡事故で4700万円 賠償命令

東京地裁

東京都大田区の横断歩道を歩行中、赤信号を無視したスポーツタイプの自転車にはねられ死亡した主婦(46)の遺族が自転車の男性(46)に約1億円の損害賠償を求めた訴訟。東京地裁は28日、約4700万円の支払いを命じた。

原告側は「自転車に歩道を歩行中、赤信号を無視したスポーツタイプの自転車にはねられ死亡した主婦(46)の遺族が自転車の男性(46)に約1億円の損害賠償を求めた訴訟」と判決を評価した。

自転車の人身事故では昨年7月、神戸地裁が加害者側に約9500万円の支払いを命じている。

事故は2010年1月に発生した。判決などによると、東さんは時速15〜20キロの自転車

果を報告。車道を走る自転車と自動車、事故に結び付く危険に陥ったケースは1件もなかったという。

自転車のルール周知などについて委員からは「県職員などが手本となり、自転車マナーを広げる運動ができないか」「車優先の考え

方を改めるべき」などの意見が出された。会議は、自転車利用が拡大する中、割合が増加する自転車事故を防止しようと、12年9月に発足。行政関係者や学識者、大学生ら計16人で構成され、計5回の会議を行った。

(佐藤洋)

都千代田区)で昨年4月、利用客がエスカレーターの手すりに指を挟まれて重軽傷を負った事故で、警視庁万世橋署は28日、埼玉県の会社経営者の男性(71)が手荷物で誤って手すりを破損させたのが原因だったとして、過失傷害容疑で男性を書類送検した。被害者が告訴せず男性も反省しているため、同署は起訴を求めない意見を付けた。

送検容疑は昨年4月24日朝、エスカレーターに乗った際、持っている木の板(縦90センチ、横25センチ)の角を手すりにつっかえ、金属製レールに引っ掛り、後続の長野県の人(74)ら9人が

製造ラインに死角 逮捕前容疑の食品農薬混入

逮捕前容疑の食品農薬混入

アクリフーズ群馬工場(群馬県大泉町)の冷凍食品農薬混入事件で、偽計業務妨害容疑で逮捕された工場契約社員阿部利樹容疑者が、今月14日に行方不明となった。24日に埼玉県幸手市内の店舗駐車場付近で見つかった。暖をとるため

「もう市長をリコールするしかない」。傍聴した他のメンバーからは過激な声も上がった。

一方、LRT導入を推進してきた市民団体「雷都レールとちぎ」の奥平一彦代表は委員会の決断を歓迎。「市長選の結果に加え、行政と議会がLRTをきちんと造っていくという意思表示をした」と淡々と語った。

「もう市長をリコールするしかない」。傍聴した他のメンバーからは過激な声も上がった。

一方、LRT導入を推進してきた市民団体「雷都レールとちぎ」の奥平一彦代表は委員会の決断を歓迎。「市長選の結果に加え、行政と議会がLRTをきちんと造っていくという意思表示をした」と淡々と語った。

LRT住民投票条例

賛成、反対議論2日間 僅差で否決にため息

賛成、反対議論2日間

「悔しい」「憤りを感じる」。傍聴席を埋め尽くした「民意なきLRT導入を阻止する会」のメンバーから大きなため息がもれた。27、28の2日間、宇都宮市が計画する次世代型路面電車(LRT)導入の是非を問うため、住民投票の条例制定について審議した市議会総務常任委員会。初日の上田憲一(かみのり)同会代表の参考人質疑を受け、この日は2時間わたる議論が繰り広げられたが、議案は賛成少数で否決。29日には本会議での採決が行われ、上田代表は「議員個人の良識で臨んでほしい」とわずかな期待をにじませた。

て住民投票の必要性を訴え続けた上田代表は「LRTの事業費や採算性の話に終始してしまい、民意を無視する結果になってしまった」と肩を落とした。

署名集めに苦労したという同市下平出町、無職坂本勝さん(70)

「悔しい」「憤りを感じる」。傍聴席を埋め尽くした「民意なきLRT導入を阻止する会」のメンバーから大きなため息がもれた。27、28の2日間、宇都宮市が計画する次世代型路面電車(LRT)導入の是非を問うため、住民投票の条例制定について審議した市議会総務常任委員会。初日の上田憲一(かみのり)同会代表の参考人質疑を受け、この日は2時間わたる議論が繰り広げられたが、議案は賛成少数で否決。29日には本会議での採決が行われ、上田代表は「議員個人の良識で臨んでほしい」とわずかな期待をにじませた。

「悔しい」「憤りを感じる」。傍聴席を埋め尽くした「民意なきLRT導入を阻止する会」のメンバーから大きなため息がもれた。27、28の2日間、宇都宮市が計画する次世代型路面電車(LRT)導入の是非を問うため、住民投票の条例制定について審議した市議会総務常任委員会。初日の上田憲一(かみのり)同会代表の参考人質疑を受け、この日は2時間わたる議論が繰り広げられたが、議案は賛成少数で否決。29日には本会議での採決が行われ、上田代表は「議員個人の良識で臨んでほしい」とわずかな期待をにじませた。

「悔しい」「憤りを感じる」。傍聴席を埋め尽くした「民意なきLRT導入を阻止する会」のメンバーから大きなため息がもれた。27、28の2日間、宇都宮市が計画する次世代型路面電車(LRT)導入の是非を問うため、住民投票の条例制定について審議した市議会総務常任委員会。初日の上田憲一(かみのり)同会代表の参考人質疑を受け、この日は2時間わたる議論が繰り広げられたが、議案は賛成少数で否決。29日には本会議での採決が行われ、上田代表は「議員個人の良識で臨んでほしい」とわずかな期待をにじませた。



傍聴者が見守る中、「LRT導入計画の賛否に関する住民投票条例の制定」に関する議案を審議した宇都宮市議会総務常任委員会=28日午前、同市議会委員会室

市政始まって以来の住民投票を審議する市議会臨時会。前例がないため、議論に臨む委員も議事事務局職員も異例続きの対応に追われた。

委員会室には通常5席しか用意されない傍聴席を20席に増やした。それでもさき切れないとみて、隣室には音声のみを伝える場も設けられた。

その大半を「民意なきLRT導入を阻止する会」のメンバーが占め、推進派と慎重派の議員間で繰り広げられた論戦を見守った。

28日正午前、ようやく採決が始まったが、僅差で議案が否決された瞬間、3万を超える署名集めに奔走した市民からは大きなため息が漏れた。

参考人として一貫し

獨協医大日光医療センター(中元隆明院長)は28日、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の院内感染が発生したと発表した。16〜27日に入院患者19人と職員19人の計38人に下痢や嘔吐などの症状が現れたが、全員回復している。発症者は20〜90代で検査の結果、計8人からノロウイルスが検出された。同センターは院内感染が集中した病棟を閉鎖するなど感染拡大の防止策を講じ、原因を調べている。

同センターは16日か

獨協医大日光医療センター(中元隆明院長)は28日、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の院内感染が発生したと発表した。16〜27日に入院患者19人と職員19人の計38人に下痢や嘔吐などの症状が現れたが、全員回復している。発症者は20〜90代で検査の結果、計8人からノロウイルスが検出された。同センターは院内感染が集中した病棟を閉鎖するなど感染拡大の防止策を講じ、原因を調べている。

同センターは16日か

獨協医大日光医療センター(中元隆明院長)は28日、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の院内感染が発生したと発表した。16〜27日に入院患者19人と職員19人の計38人に下痢や嘔吐などの症状が現れたが、全員回復している。発症者は20〜90代で検査の結果、計8人からノロウイルスが検出された。同センターは院内感染が集中した病棟を閉鎖するなど感染拡大の防止策を講じ、原因を調べている。

同センターは16日か

獨協医大日光医療センター(中元隆明院長)は28日、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の院内感染が発生したと発表した。16〜27日に入院患者19人と職員19人の計38人に下痢や嘔吐などの症状が現れたが、全員回復している。発症者は20〜90代で検査の結果、計8人からノロウイルスが検出された。同センターは院内感染が集中した病棟を閉鎖するなど感染拡大の防止策を講じ、原因を調べている。

同センターは16日か

ノロ 38人院内感染

病棟閉鎖

獨協医大日光医療センター(中元隆明院長)は28日、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の院内感染が発生したと発表した。16〜27日に入院患者19人と職員19人の計38人に下痢や嘔吐などの症状が現れたが、全員回復している。発症者は20〜90代で検査の結果、計8人からノロウイルスが検出された。同センターは院内感染が集中した病棟を閉鎖するなど感染拡大の防止策を講じ、原因を調べている。

同センターは16日か

獨協医大日光医療センター(中元隆明院長)は28日、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の院内感染が発生したと発表した。16〜27日に入院患者19人と職員19人の計38人に下痢や嘔吐などの症状が現れたが、全員回復している。発症者は20〜90代で検査の結果、計8人からノロウイルスが検出された。同センターは院内感染が集中した病棟を閉鎖するなど感染拡大の防止策を講じ、原因を調べている。

同センターは16日か

獨協医大日光医療センター(中元隆明院長)は28日、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の院内感染が発生したと発表した。16〜27日に入院患者19人と職員19人の計38人に下痢や嘔吐などの症状が現れたが、全員回復している。発症者は20〜90代で検査の結果、計8人からノロウイルスが検出された。同センターは院内感染が集中した病棟を閉鎖するなど感染拡大の防止策を講じ、原因を調べている。

同センターは16日か

獨協医大日光医療センター(中元隆明院長)は28日、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の院内感染が発生したと発表した。16〜27日に入院患者19人と職員19人の計38人に下痢や嘔吐などの症状が現れたが、全員回復している。発症者は20〜90代で検査の結果、計8人からノロウイルスが検出された。同センターは院内感染が集中した病棟を閉鎖するなど感染拡大の防止策を講じ、原因を調べている。

同センターは16日か

受刑者尋問 「記憶ない」

平田被告公判

オウム真理教元幹部平田信被告(48)の裁判員裁判で東京地裁は28日、地下鉄サリン事件などで無期懲役が確定した元幹部杉本繁郎(54)の証人尋問を実施した。地下鉄サリン事件の前後に起きたマ

オウム真理教元幹部平田信被告(48)の裁判員裁判で東京地裁は28日、地下鉄サリン事件などで無期懲役が確定した元幹部杉本繁郎(54)の証人尋問を実施した。地下鉄サリン事件の前後に起きたマ

オウム真理教元幹部平田信被告(48)の裁判員裁判で東京地裁は28日、地下鉄サリン事件などで無期懲役が確定した元幹部杉本繁郎(54)の証人尋問を実施した。地下鉄サリン事件の前後に起きたマ